

令和4年度 新潟市農業活性化研究センター試験成績書

研究課題	モモ「川中島白桃」の収穫期前後に出荷できる有望中晩生品種の選定
背景・ねらい	本市モモ産地は共選指定品種の12品種によりお盆需要を中心に7月中旬から9月中旬まで出荷されており、この出荷期間における安定した良品出荷が市場ひいては消費者との信頼関係を構築し産地として評価を高める要素となっている。しかし近年、山根白桃、ゆうぞらが着色不良やせん孔細菌病多発等により栽培が減退し、川中島白桃前後の出荷量の落ち込みが大きくなっておりこれらに代わる優良品種の選定が急務となっている。
担当者名	鍋田 慎介 山澤 勉
研究期間	2020～（継続3年目）

1 目的

有望な中晩生品種の収量、果実品質等を把握しその普及性について検討する。

2 方法

(1) 試験場所

新潟市農業活性化研究センター 露地ほ場，砂壤土

(2) 試験規模

1品種1樹

(3) 供試品種（樹齢）等

ア なつっこから川中島白桃の間に収穫される品種

：夏の陽（1），きらり暁（1），あかもも（1）

イ 川中島白桃から白根白桃の間に収穫される品種

：川中島白桃（3）あこや（3）・ふくよか美人（3）・あぶくま（3）・甘々燦燦（3）・さくら（3）・西王母（3）・白根白桃（1）

(4) 耕種概要

ア 栽植様式

シンプル仕立て（オールバック1主枝仕立て）株間2.0m

イ 施肥等

年間肥料成分（kg/10a）：N:P₂O₅:K₂O=9.8:6.5:6.3（未成木）

毎年苦土石灰100kg/10a，適宜たい肥施用

土壌管理：雑草草生，適宜かん水

ウ その他

病虫害防除：「果樹防除ハンドブック（新潟県果樹振興協会発行）」に準ずる。

気象災害，鳥害等の対策：多目的防災網の設置（4月～10月）

(5) 調査項目

催芽期，開花期，収穫時期，収穫量，果実品質，その他病虫害発生状況等

3 考察とまとめ

本年はせん孔細菌病の発病がほぼなく，達観で多目的防災網の効果と思われた。樹齢3年となった品種で初収穫となった。収量僅かではあるが，現時点で特に有望と思われたのは「さくら」であった。「あこや」「西王母」は食味良好であったが，供試した果実の中に蜜症と思しきものが混在した。その他の品種も他県では一定の評価を受けているので，次年度以降の調査に期待したい。

表1 生育および収量/樹

品 種	花粉の有無 (○・×)	樹 齢	収 穫 盛 期	収 量	
				(果)	(kg)
夏の陽	○	1	-	-	-
あこや	○	3	8月15日	15.0	4.8
きらり暁	○	1	-	-	-
あかもも	○	1	-	-	-
川中島白桃	○	3	8月18日	18.0	5.1
あぶくま	○	3	8月19日	9.0	1.7
さくら	○	3	8月29日	7.0	2.5
甘々燦燦	×	3	8月29日	13.0	5.1
ふくよか美人	○	3	9月5日	10.0	2.5
白根白桃	○	1	-	-	-
西王母	×	3	9月20日	19.0	6.7

表2 果実品質/果

品 種	1果重 (g)	着色割合 (%)	縦径 (cm)	横径 (cm)	側径 (cm)	果肉硬度 (lbs)	糖度 (Brix%)	酸度 (pH)	評価*	備考
夏の陽	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未収穫
あこや	352.5	98.0	78.4	88.4	91.4	2.5	13.1	4.9	B	食味良好, 蜜症(?)
きらり暁	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未収穫
あかもも	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未収穫
川中島白桃	312.8	88.5	77.5	84.1	86.3	3.2	12.7	4.5	A	(基幹品種)
あぶくま	229.7	75.0	69.8	76.6	77.1	1.8	12.2	4.7	C	薄味
さくら	388.9	75.8	83.0	93.3	93.5	4.3	12.1	4.7	A	食味良好
甘々燦燦	247.4	67.5	74.7	80.1	77.9	2.9	11.8	5.0	C	薄味, 蜜症(?)
ふくよか美人	368.8	78.6	81.9	89.1	88.4	3.7	11.3	4.4	C	薄味
白根白桃	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未収穫(基幹品種)
西王母	452.0	72.5	74.8	87.7	89.1	5.5	14.1	4.8	B	食味良好, 蜜症(?)

* 評価凡例・・・A 特に有望 B 有望 C 要観察 D 有望ではない

(n=10)